

第4回 東海地区 高校生介護技術コンテスト

8月23日（水）に三重県立伊賀白鳳高校にて、「第4回東海地区高校生介護技術コンテスト」が開催されました。各県の予選を勝ち抜いた8校で競いました。本校は岐阜県代表として出場し、「優良賞」をいただくことができました。



当日に提示された課題に対して、25分間で介助内容を考えました。私たちは「尊厳の保持」と「安楽な介護」の2点を大切にしました。

現在の生活だけでなく、利用者さんの今後の生活を考えた介護を実践することができました。

介助している様子です
利用者さんのことを考え
ながら介護しました



介護は、奥深い、楽しいと改めて感じたコンテストでした。

1つでも2つでも自分の力として、他のチームの介護技術を学んだ上でもっともっと素晴らしい介護を目指していければと思います。

審査員の講評より

たたみの端を踏まないなど細やかな配慮がされていた。お部屋に入った際の環境整備、ドアの開閉についても前後でしっかりと配慮され、声掛けの確認もされていました。

目に見えないところでもその人がいかに快適に過ごしていくのか、そのような視点というのが、言葉の表現からも表われていました。

